

|      |   |
|------|---|
| 内容   | その地域に昔からあった自然の森の植生を知り、鎮守の森等から採取した実生（種）により木を育て、地域の森を再生する。<br>実生（種）から育てることが出来ない場合は、放置しておけば刈取られてしまう幼木等を採取して、植樹するところから森を育てる。  |
| ねらい  | 地域の本来の自然植生が残っている森は、身近なものでは神社の鎮守の森など、限られたところとなっている。また、里山など暮らしに身近な森は地域の稲作文化と密接に結びついてきた歴史がある。そのような森の存在意義やはたらき、人とのつながりを、活動を通して知る。<br>また、体験を通して自ら自然環境の大事さを考えるように導く。  |
| 学習効果 | 自然環境を視野に入れたものの考え方ができる。  |
| 関連教科 | 理科、社会   |
| 対象学年 | 小学校1～6年生  |
| 対象人数 | 制限なし  |
| 場所   | 小学校の敷地内か地域で植樹を必要としている所  |
| 時期   | 実生は種を採集できる秋、植樹の場合は春先が好ましいが、特に限定なし。  |
| 進め方  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域の森を調査する。どんな木や草、鳥、虫などの生きもので構成されているか。そして森のはたらきについて学ぶ。</li> <li>2. 森づくりの場所、大きさ、どんな種を蒔くかなどの計画を立てる。</li> <li>3. 種を集める。苗木をポットで育てる。</li> <li>4. マウンド（土台）作り、堆肥作りをする。</li> <li>5. 種をマウンドに蒔く。苗木は1～2年後に植樹する。</li> <li>6. 育っていくのを観察・記録などして見守る。</li> <li>7. 草刈りは苗木が草に負けない程度に2～3年は刈るが、あとは何もしない。水やり、肥料やりも不要。<br/>（森になるのは早くて15年～20年ぐらいかかるが、ずっと残り、防災の役目も果たす。）</li> </ol> |

|                          |   |
|--------------------------|---|
| <p>ポイント</p>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・あわてず急がずていねいに一つ一つの作業を行う。</li> <li>・木の育ち方、根、幹、葉などはたらきについて理解する。</li> <li>・森のはたらき、存在理由の理解と自然植生の森とその他の森についても理解する。</li> <li>・観察すること。</li> </ul> |
| <p>道具・材料</p>             | <p>筆記用具<br/>森づくりにはスコップやポット、刈草や落ち葉、鎌など、状況により様々な道具が必要になる場合もある。</p>  |
| <p>所要時間</p>              | <p>お話と森の観察だけだと60～120分。<br/>森づくりは60～120分を年に数回必要。</p>   |
| <p>経費</p>                | <p>遠い場合は交通費。<br/>資料印刷費30円×人数分<br/>ポットやマウンド作りの道具が無い場合の道具費用。</p>  |
| <p>森のせいせい<br/>氏名・団体名</p> | <p>坂上 優子</p>  |

